抜き打ち調査実施報告書

法人名 施設名	社会福祉法人「生活クラブ」 生活クラブ風の村特養ホーム八街
実施日 時　間	開始　　2018 年　9 月 11 日（火）　0 時 10 分 終了　　2018 年　9 月 11 日（火）　8 時 40 分
評価者名	是枝祥子　本間郁子　（2 名）

結果（運営基準の順守）

抜き打ち調査の職員の対応	23:55 にインターフォンを押すと職員が対応した。抜き打ち調査実施書を手渡し、0 時 10 分から調査を開始した。

夜勤者数	12 ユニット（内ショートステイ 2 ユニット） 定員 117 名で夜勤者 6 名 （ショートステイ 1 名の夜勤者含む） （運営基準は 6 名。重要事項説明書通り）
拘束の有無	全居室（自室から鍵をかけている人以外）を確認した結果、拘束は無し。
プライバシーの確保	全居室はドアが閉まっており、プライバシーが守られ、排泄介助も適切であった。
不適切な対応	無し。 夜間、ほとんどの方が安心して休まれている様子を伺うことができた。深夜過ぎても寝付けない人が 2 人いたが、不適切な状況は見受けられなかった。

【特記】

　それぞれ夜勤の職員は突然の調査に冷静に、いつもと変わりない行動をとっていた。抜き打ち調査が周知されており、さすがだなと感じた。

　夜勤者１人に「生活クラブ」の理念、基本方針を尋ねると明確に答えることができた。

　夜勤体制は 12 ユニット（全室個室化）で 6 人配置しており、コンプライアンスは守られていた。（ショートユニットを含む）職員の仮眠、休憩は取られており、調査の中でも 1 人が仮眠中だったため、本町で 17 人を 1 人で対応していた時間帯があった。夜勤職員はコール対応や洗濯機を回すなどフルに仕事をしていた。
　夜間におきている入居者と職員の間で「電気をつける、消す」を繰り返しており、カンファレンスや施設サービス計画はどうなっているのか、その対応が気になった。

　施設全体は清潔感や季節感があり、整理整頓がなされ、生活の質が適切に保たれていた。

　居室はほとんど臭いを感じなかった。共有トイレにおいても臭いがなかった。

　職員はコールにも丁寧に対応しながら、排せつ介助を適切に行っていた。

　冷蔵庫は汚れが目立つところが多くあり、今後は、定期的継続的に清潔が保てる工夫が必要である。

　本町の中廊下は秋祭りの準備で提灯が飾られており、準備が着々と進められている様子が分かった。

　朝の早い勤務者は時間より早く来て申し送りなどを行っていた。安全を守る姿勢が伺われた。そのような仕事に対する姿勢と連携やマニュアルにはない職員間の関係性がサービスの質に影響しているのだと思う。
　職員の誠実な対応に安心感を持った。